

I. 事業の基礎情報

事業名		ICTでまちづくり推進事業		担当部・グループ名	企画部 ICT推進グループ										
総合計画（基本計画）体系	個別目標	(2) 将来を見据えた健全な財政運営を行います													
	こんなことに取り組みます	工業用地の創出、市税徴収力の強化、受益者負担の適正化など、財源の確保に努めるとともに、真に必要な事業を見極め、限りある財源のより効率的・効果的な活用に取り組みます。													
	みんなで目指すまちづくり指標名	将来を見据えた財政運営が行われていると思う人の割合													
	策定時の値	2017	47	実績値	2018	-	実績値	2019	-	実績値	2020	-	目標値	2021	55
総合戦略		■該当する □該当しない			予算事業名		地方創生推進交付金事業、ICT推進事業、情報系庁内LAN管理事業								

II. 目指す姿

このアクションプランによって実現したい目指すべき市の姿	<p>☆高浜市で暮らす、経済活動を行う市民の利便性や満足度が高まる。</p> <p>☆効率的・効果的な行政サービスが提供できている。</p>
-----------------------------	--

III. 課題

目指す姿実現に向けた課題	<p>①より多くの職員に対して、ICTを活用した行政サービスの姿・あり方を啓蒙する取組みが必要である。</p> <p>②市民・企業に対し、ICTを活用した行政サービスの姿・あり方及びその効果等をお知らせしていくことが必要である。</p>
--------------	--

【PLAN】

IV. 目指す姿の実現に向けた4年間の工程表・事業概要

事業年度	2018(平成30年度)	2019(平成31年度)	2020(平成32年度)	2021(平成33年度)		
事業計画	<p>会議のペーパーレス化</p> <p>毎年度、当初予算編成前に効果検証し、規模を拡大・縮小する</p> <p>★</p>					
	<p>ペーパーレス会議システム導入準備</p> <p>ペーパーレス会議システムの導入・実施</p>					
	<p>通訳サービス</p> <p>毎年度、当初予算編成前に効果検証し、規模を拡大・縮小する</p> <p>★</p>					
	<p>導入準備説明会</p> <p>タブレット端末を活用した通訳サービスの導入・実施</p>					
	<p>LPWA ネットワーク</p> <p>IoTネットワークに関する調査・研究</p> <p>モデル事業の検討</p> <p>モデル事業の実施</p> <p>見守りシステムのモデル実証</p> <p>導入支援</p> <p>人工知能の活用</p> <p>行政サービスへの活用検討</p> <p>導入準備</p> <p>運用開始</p> <p>地元企業への導入促進セミナー</p> <p>地元企業への導入促進・支援</p> <p>広域展開に向けた他市との検討</p> <p>行政サービスへの活用検討</p> <p>事業の効果検証</p> <p>事業継続の場合</p> <p>IOTネットワークを活用した事業の広域化に向けた検討</p> <p>事業継続の場合</p> <p>人工知能のさらなる活用・広域化に向けた検討</p>					
	事業費総額(千円)	(当初) 27,574	(見込) 104,340	(見込) 41,780	(見込) 41,780	
	財源内訳	一般財源	15,144	82,632	41,780	41,780
		特定財源	12,430	21,708	0	0
	特記事項					

【DO】

IIIと対応する課題	V. 上半期の進捗状況 目標達成のために掲げた「課題解決に向けた取り組み」とその進捗状況
①	◆タブレット端末を活用した窓口通訳サービスを開始する。
状況	学校でのコミュニケーションを円滑に行うため、外国語翻訳端末を活用し、検証を行った。
①	◆ペーパーレス会議システムを導入し実施する。
状況	LGWAN回線を活用したペーパーレス会議システムの検討を行った。
①②	◆人工知能を活用した行政サービス(モデル事業)を開始する。
状況	以下について検討を行った。 AI :・市民の問合せのテキスト化及び分類、適切な回答の作成 ・法規事務における凡例の自動抽出 RPA:・会計審査の自動化 ・健診票の読取り及び請求書作成の自動化 ・契約手続きの自動化
②	◆ICTネットワークを活用した実証事業(モデル事業)を実施する。
状況	中部電力と3G回線を利用した見守りサービスの検討を行った。

【CHECK】

IIIと対応する課題	VI. 上半期の取り組みから見えてきた課題 目指す姿実現に向け、これまでの取り組みから見えてきた課題
①	翻訳における現場のニーズを聞き取り、最適なサービスの提供を行う必要がある。
①	セキュリティの問題があることから、LGWAN回線を活用したペーパーレス会議を具体的に検討していく必要がある。
①②	AIの活用にはビッグデータが必要となるため、他市と協働でシステムを開発していく必要がある。
②	実証実験終了後、市民が個人で中電と契約する際の通信料について注視する必要がある。

【ACTION】

IIIと対応する課題	VII. 課題解決を踏まえた今後の具体的なアクション(案) いつ・何を・どのように・どうする	
①	平成30年度下半期	学校における外国語翻訳端末を導入し、子ども同士が円滑にコミュニケーションを図れるようにする。 また、市役所窓口での自治体向け音声翻訳システムの実証実験をし、市民と窓口の間での確かな意思疎通を図れるようにする。
	平成31年度	市役所窓口での音声翻訳システムの運用開始し、引き続き市民と窓口の間での確かな意思疎通を図れるようにする。
①	平成30年度下半期	セキュリティを考慮したシステムの選定、導入に向けた準備。
	平成31年度	プリンターのリースアップに合わせ複合機を導入し、全庁的にペーパーレス会議を行う環境を整える。ペーパーレス会議を利用し、職員同士で業務の共有を図り、意思統一をすることで行政サービスの向上を目指す。
①②	平成30年度下半期	AI:市民の問合せにおける自動QAの作成については、サービスの具体的な内容を決定し、契約を行う。また、AI導入可能な業務を引き続き検討する。 RPA:上半期で選定した業務における実証実験を行い、職員のRPA導入に向けた機運を高める。また、引き続き費用対効果が見込まれる業務を選定し、次年度の導入に向けた予算化、環境の準備を行う。
	平成31年度	AI:他市に協力を募り、QAデータの蓄積を行い、ビッグデータを活用した精度の高いサービスの提供を目指す。 RPA:庁内各分野でRPAの導入、運用を行い、時間外勤務の削減、業務ミスの防止を図る。
②	平成30年度下半期	市内小学校で3G回線を利用した端末の実証実験を行う。
	平成31年度	新たなICTネットワークの動向に注視し、活用の可能性を模索する。
平成31年度 事業費予算	104,340千円	